

シリーズ 「私たちの思い」



大田 陽一
柏崎刈羽原子力発電所
第二保全部計測制御グループ
平成22年入社

高校で電気・機械について学んでいる時、日本ではベース電源のひとつに原子力発電があつて、経済や産業を支えるのに必要不可欠なものだということを知りました。それ以降、電気を生み出す現場で働きたいと思うようになり、世界最大の発電規模である柏崎刈羽原子力発電所のエンジニアとして、知識を深め技術を身につけていく道を選びました。

東北地方太平洋沖地震では、発電所構内を移動している時に大きな揺れを感じ、すぐに原子炉建屋に戻って先輩と緊急パトロールに出ました。自分たちの持ち場の確認が済んで、大きな異常も無くほっとしながら事務所に戻り、福島第一に大きな津波が来たことを聞きました。「自分はこれまで、原子力のリスクに向き合えていただろうか——」と、胸が締めつけられる思いでテレビのニュースを見ていました。

原子力のリスクに向き合い対応していくためには、丁寧に誠実に業務に取り組み、安全をひとつずつ積み上げていくことが重要だと考えています。私は入社から6年間、原子炉の

**何事にも誠実に取り組み、
安全をひとつずつ積み上げていく**

圧力や水位等を測定する機器の担当者として、配線や測定器に不具合が無いか、不具合の原因になるような劣化が生じていないか、日々、確認を行っています。これらの機器は、原子炉建屋内の様々な設備の状態を把握するためにとても重要なものです。測定結果をもとに仕事をすると、皆さんの人がいるということを意識し、設備を使う人の気持ちや立場になつて仕事をするようにしています。私たちの仕事は、トラブルが無く順調なのが当然。褒めてもらえることはないかもしれないけれど、異常やトラブルが無く機器が動いていることが、やりがいにつながっています。

先輩や協力企業の方々とはよくコミュニケーションをとって知識や技術を身につけ、成長し続けていきたいと思っています。



PR

平成28年12月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、WEBでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepco.co.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社
025-283-7461
9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

TEPCO